

# 豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号 27

## 1 施策の概要

1-1 施策の名称	道路			基本施策コード	3 1 1
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	評価票作成者 都市計画課長 鈴木重利
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			
	項	道路・交通			
1-4 施策の目的	幹線道路のネットワーク化による、円滑な交通と活発な交流を実現する。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(%)	実績値(%)	達成率(%)	目標値(%)	実績値(%)	達成率(%)	
	自動車での移動が便利な道路網に対する満足度	76.0	81.0	107.0	84.0			道路網の整備に対する市民満足度に都市計画道路の整備率を乗じた道路網の充実を表した指標

## 2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	いつ起こるか分からない地震等都市災害時における緊急輸送道路の早期整備	緊急輸送道路を兼ねた大脇館線・桜ヶ丘沓掛線の幹線道路整備を進める	重点路線である大脇館線の計画的整備を進めた
平成19年度	基本的な認識は以前と同じであるが、市街化調整区域での整備について、今後は周辺土地利用についても検討し事業効果を上高めるようにしていきたい。	幹線道路の整備は道路のネットワークを図ることが重要であるが、そういったことから大脇館線・桜ヶ丘沓掛線等の未整備区間の整備が早急に必要である。	幹線道路の整備は、用地取得、物件等の補償費、工事費など大きな財政負担を伴い、財政状況が厳しい中で用地の買い戻し等の用地取得が少しづつではあるが前進しており、この時期においては妥当な成果と考える
平成20年度	幹線道路のネットワークの充実により地震等都市災害時における緊急輸送道路の早期整備。	幹線道路の整備は道路のネットワークを図ることが重要であるが、そういったことから熊野豊明線・桜ヶ丘沓掛線等の未整備区間の整備が早急に必要である。	大脇館線について国道一号線タッチ完了により歩行者安全や渋滞が解消された。
平成21年度	都市機能の円滑化と地域の活性化を支えて。地震等による都市災害時における緊急輸送道路として早期整備	都市災害時に必要な幹線道路である熊野豊明線に着手し、H23年度完成を目指す。また、桜ヶ丘沓掛線等の未整備区間の整備が早急に必要である。	重要課題であった、熊野豊明線について、着手出来たことは高く評価できる。
平成22年度	熊野豊明線の関連事業として間米敷田線の嵩上げ工事の実施により、平成23年度中に熊野豊明線の供用開始を目指すことができる。		
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

